



学校だより

臨時増刊号

令和6年2月28日
松戸市立上本郷小学校
校長 浦上 和茂

令和5年度 学校評価アンケートの結果について

春暖の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じます。日頃から本校教育活動へのご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、保護者の皆様にはご多用のところ本校教育活動についてのアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。このほど結果がまとまりましたのでお知らせいたします。昨年度と同様の質問項目で実施しましたので、比較できるようにまとめました。

学校ではこの結果を分析し、次年度に向けて教育活動の改善を図ってまいります。今後とも保護者・地域の皆様のご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

学校ホームページには、集計結果をグラフにしたものを掲載してありますので、併せてご覧ください。

【全体的な傾向】

全体的におおむね良い傾向にあり、児童及び教職員に関しては、昨年度より「よくできている」「大体できている」の合計値は増加しています。

【教育活動】

教育活動の見直しについて、保護者及び教職員アンケートの「よくできている」の数値はどちらも大きく増加しています。今年度の活動を振り返り、その反省の下、さらにより良い方向に改善できるよう努めてまいります。

【学習面】

全体的に昨年度より良い傾向となっておりますが、児童アンケートの授業への参加状況、学習内容の理解を問う項目では若干の低下傾向が見られます。児童の自ら学ぼうとする意欲を喚起・維持していくため、興味関心を引き出すとともに、わかる授業づくりに引き続き努めてまいります。

【生活面】

全体的に良い傾向となっております。児童が教師や友達との関わりを通して、いじめのない充実した学校生活を送れるよう、一人ひとりを大切にする学校づくりに、引き続き努めてまいります。また、昨年度の学校評価の反省を踏まえ、教育相談体制の充実を図ってきましたが、児童及び教職員アンケートの数値は低下傾向が見られます。より一層の教育相談体制の充実に努めてまいります。

【安全・環境面】

全体的に昨年度より低下傾向となっております。中でも、教職員アンケートの安全指導に関する項目が昨年度より低下しているため、安全教育全般を改めて見直してまいります。施設・設備や環境の整備に関しては改善傾向のため、引き続き安全な学校づくりに努めてまいります。

【学校・家庭・地域連携】

全体的に昨年度と同等となっております。その中で、各家庭の学校への関心を問う項目が大きく低下しているため、情報発信の充実に努めてまいります。感染症による規制が大きく緩和され、保護者や地域が学校教育活動に関わる機会が増えています。児童の健全な成長のために、学校・家庭・地域が引き続き連携していくことが必要です。